

奥州市新医療センター整備基本構想（案）パブリックコメントでの主な意見

意見の提出状況 提出者 16人 、意見数 47件

No.	意見（概要）
1	<p>右折車線、複数の出入口、敷地内の周回通路を設置してほしい。</p> <p>【内容】建設予定地の外構工事(道路工事)について、基本構想第5、7章。下記のとおり要望する。(概略図あり)</p> <p>※敷地内で建設予定地をセットバックしてアクセス道路の敷地を確保する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アクセス道路の右折車線設置 2 出入口の複数設置(リスク管理) 3 周回(環状)道路設置
2-(1)	<p>交通混雑が想定されるため水沢公園への建設は反対</p> <p>【内容】県立胆沢病院と総合水沢病院を近くする理由が分からない。県立胆沢病院から退院後のリハビリなどのアクセスが良いという理由であれば、送迎車を用意すれば良い。水沢公園付近の交差点付近は、冬場や通勤時間帯とても混むため、これ以上混むのはやめてほしい。また、拡張する道路についても、想定していないのでは、結局資金が膨れあがるのではないか。</p> <p>特に立地に関しては、現地建て替えまたは、やや郊外で十分。</p>
2-(2)	<p>職員の雰囲気、長い待ち時間など改善してほしい。</p> <p>【内容】何度か水沢病院の外来を受診したが、職員の雰囲気、待ち時間が長い、説明が足りないと感じた。新医療センターでは改善してほしい。</p>
3-(1)	<p>産科及び妊産婦支援については原案を容認する。</p> <p>【内容】分娩に必要な人材数として産科医が最低3人必要との説明であったが、168時間/週÷40時間/週=4.2人が現実的。ただし、これでは週休以外の休暇が取れないので、最低5人必要では。</p> <p>県内の人口動態統計を基に人口及び世帯数当たりの出生者数を比較したところ、奥州市は市内に分娩できる医療機関が無いにもかかわらず、現状では他市町に対して見劣りせず健闘している。故に、市内で分娩出来ないという理由だけでは、少子化に拍車がかかっているとは考えられない。よって、新医療センターを拠点とした体制やケア強化の市の方針で問題無い。</p>
3-(2)	<p>病床数80床の根拠を明確にすべき。</p> <p>【内容】現在の総合水沢病院の病床から大幅に減少することから不安に思うのも致し方ないが、急性期および慢性期の余剰病床を、不足する高度急性期および回復期用に転換し、且つ少々の余裕を見込んで80床程度としたと、説明すれば納得が得られるのではないか。</p>
4-(1)	<p>何のために建設するのかしっかり市民に説明すべき。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①水沢病院が消滅すると市民が困るのか。困ることは何か。 ②医師が来ない可能性が高いのに病院経営が出来ないのではないか。 ③人口減が確実視される中、多額の税金を投入して建設することは理解に苦しむ。これらに対し具体的な答えをもって議論を進めるべき。

No.	意見（概要）
4-(2)	<p>新医療センターに最先端の機器を。母子・子育てサポートは他所に。</p> <p>【内容】</p> <p>1. 最先端の医療機器のある病院 多くの診療科を設けるのではなく、赤字になっても「医師会・市民」双方から歓迎される診療科にすべき。 経営の視点で最も肝要なことは、「医師の確保」。「最先端の医療機器に触れることが出来ること」は、若い医師にとって大きな魅力になる。そのための、医療機器メーカーとタイアップしての実験設置を展開。 診療科を設置する際の基本として2つ。 ①病院経営の基盤である「内科」、「整形外科」そして「総合診療科」、「小児科」を基幹診療科とする。 ②子供に関する専門診療科の設置として「スポーツ整形外科」、「児童精神科」。子供のスポーツに伴う怪我・復帰。児童精神科は、不登校対応など。</p> <p>2. 「母子・子育てサポート」などの機能は、「メイプル」に移す。 メイプルからセンターへの移動手段は、企業と提携し「無人小型バス」を運行。（メイプルの活用は、千葉県流山市の「おおたかの森」が参考。また、センターの子供対応機能は、「伊奈小学校(長野県伊那市)」の実践が参考）</p>
4-(3)	<p>医師確保のため戦略計画や基金を創設すべき。</p> <p>【内容】</p> <p>1. 「医師確保戦略計画」の策定 ①医師確保対策のための「市民行動隊の結成」。 医師確保対策は、行政任せではなく「奥州市民一丸」となって取り組むことが必要。具体のアクションとして、市民の親戚、友人知人の医師の招聘など ②外国人医師の招聘 「国境なき医師団」からの派遣について働きかけを行うことは出来ないか。県国際交流協会や市国際交流協会との情報交換に期待。</p> <p>2. 医師確保基金の創設 クラウドファンディング的(ふるさと納税方式も)手法を用いて、基金を創設しその運用により他の病院の2倍支給を目指す「給与の増額」を実施。この取組は、東北新幹線「水沢江刺駅」誘致運動で立証済み。</p> <p>3. 「医師サポートプラン」ー新たな「市民憲章」ーの策定 医師の働き過ぎの一番の原因である「市民のコンビニ診療」など、無理解な受診感覚を是正することが必要。とりわけ高齢者受診は、喫緊の課題。市民としての基本姿勢は、コンビニ受診を控えることなどを新たな市民憲章に据えて、学校教育や市民の生活に徹底。</p>
5-(1)	<p>民間で足りないところを、公的施設が補って欲しい。</p> <p>【内容】奥州市は相当広い。各地域の開業医と連携を持ちながらだが、開業医も居ないところは市立病院でまかなってもらわなきゃならない。例えば、衣川診療所は今の役割を保持していただかなくてはならない。介護に力を入れると言っても、介護事業所も人手不足。望む場所での生活が出来ないのが現状。よって、民間で足りないところを、公的施設が補って欲しい。</p>

No.	意見（概要）
5-(2)	<p>訪問診療や訪問介護が確保できるのか不安に感じる。</p> <p>【内容】訪問診療は簡単ではない。訪問診療をする医師が居るのか、医師免許があるからと何でも出来るとは限らない。今内科や外科の医師も集まらないのに、訪問診療の医師が来るとは思えない。訪問診療って、機材もままならないところで、緊急性の判断、診察力を求められる。市長は他地域の医師と話をすることも大事だが、当の地域の医師達の話聞くことも非常に大事。</p> <p>訪問看護についても同じ。看護師だからと誰でもが出来る部門じゃない。ある程度の知識と判断力が求められる。ましてや、それを妊婦検診にも使うとなると、お付きの看護師の精神的責任の負担大きいのでは。今、出来ていないのに、新しい病院になったからと、出来るのか、今を見ていると不安になる。</p> <p>訪問診療については、今はまごころ病院が主で、水沢病院も行ってもらっていると思うが、「地域のニーズに応え」て、水沢病院の件数を増やすということか。訪問看護を機能強化型にする必要性はあるか。</p> <p>機能強化型によって訪問看護と居宅が連携しやすくなるが、それには居宅が土日にも運用してくれることが必須。ケアマネ資格者を市職員に就業させ、現状の市内の居宅に振り分けても良いのではないか。敢えて、居宅を増設しなくても、市内には優秀な居宅は多くある。</p> <p>強化型は、強化型ではない訪問看護を利用するより、支払いの負担が多くなる。市の病院であれば、市民のことを一番に考えてくれる病院を望む。現状のままで良い。居宅と訪問看護が同病院になくていい。</p>
5-(3)	<p>妊産婦に係る施策の充実を図ってほしい。</p> <p>【内容】</p> <p>妊産婦の不安と負担感を解消させるための「施策」とはなにか。現状の岩手県に産科を設けることの難しさは実感した。社会現象から仕方のないこと。産婦人科が出来るとは望んでいるが、出来ない場合は何を望んでどうしたいか。</p> <p>子どもの遊び場も必要だが、その前に子どもを安全に生んでいただかないと。</p> <p>妊娠してからもう少し密に保健師助産師の訪問面談をしていければ、妊婦さんの不安も少ないのでは。</p> <p>就労しながらの妊娠であれば、土日も市に動いてほしい。就労継続の妊婦さんも多くいる。</p> <p>ネット社会だが生の情報も非常に欲しい。</p> <p>出産や育児に対して不安はつきもの。市の仕組みに組み込めないのであれば、民間に協力を求めることも必要ではないか。妊婦が集える場所がもう少しあれば。</p> <p>相談が必要な方は市役所へと言うが、そこへ足を運ぶのは大きな壁。</p> <p>引っ越してきて、気軽に話せる同じような友達がいなければ、楽しい妊娠も辛い。そんなことのないように予防線を考えて欲しい。</p> <p>妊娠出産に手厚い奥州市、良い印象の（印象だけでなく実際に）奥州市、そうすることによって、出産数アップ、子育て楽しい市、若い世代移住アップ、人口増、住民税増、市民の負担減、住みやすい奥州市、と繋がっていくのでは。何もしないで人口増にはならない。</p> <p>市には出来るところまで行ってほしい、民間も協力出来るように、市も寄り添ってほしい。</p>

No.	意見（概要）
5-(4)	<p>小児医療の充実など基本方針に係る要望等</p> <p>【内容】</p> <p>小児医療の充実について、病院の休みの時に具合を悪くした際の受け皿を求める。夜間休日の民間開業医の無理なところ。</p> <p>病児、病後児保育の利用条件などわからなかった。開始の際は周知を。</p> <p>救急医療の継続について、主治医が水沢病院の際は断らずに受け入れてほしい。</p> <p>感染症対策の充実について、第二種感染指定医療機関として登録してあるなら、その分の助成金は入っているはず。十分その機能は設置をお願いしたい。コロナのように感染拡大の問題があれば、市民を守るための必要なことを率先して行ってほしい。</p>
6-(1)	<p>水沢公園は貴重な名所であり建設することに反対</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水沢公園は水沢市の貴重な名所。次世代に残していくべき。 ・市内中心部に400mトラックの整備された公共の競技場は他にない。 ・病院をにぎわい創出に、とあるが、病院は病気の方が行く場所。公園のような人々が集い活動できる場所は守り、充実させていくべき。 ・公園近辺の道路は混んでいることが多く、大きな駐車場も作りにくい。道路拡張工事には経費も余分にかかる。 ・市在住者は電車で病院に行く方は少なく、大多数は車。車でアクセスしやすい場所とし、市中心部にあえて建設する必要はない。
6-(2)	<p>病院の建設自体にもどちらかといえば反対</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合病院に求めるものは、高度で安定した医療体制。そのためには最新の設備、優秀な医療者の十分な確保が必要。 ・十分な医療体制を維持するには、かなりの維持費の負担が想定。 ・市内の県立病院等、現存の病院と連携して、そちらの拡充を働きかけることに費用を当てた方が効率的。
6-(3)	<p>分娩施設は県と連携して設置を検討してほしい。</p> <p>【内容】市内の県立病院に分娩施設を設けられるように働きかけたり、連携してそのような施設を設けるなどの検討を。</p>
7-(1)	<p>基本構想にぜひ周産期医療の開設を盛り込んでほしい。</p> <p>【内容】周産期医療はセンター建設のスタート地点の問題。あらゆる知恵と力を結集して実現できるよう努力すべき。最初からできない理由ばかりを並べ立てて、全面的に拒否するのであれば、市職員も市長も職務怠慢、職務放棄であり、直ちに辞職して。獲得目標は、産婦人科医3名以上、小児科医、麻酔科医それぞれ2名以上、助産師16名以上を確保すること。そのためには、地元医師会を始め、県選出国會議員、奥州市出身で県外で活躍している医者や県人会など、その他全市民のあらゆるツテを使って、新医療センターに周産期医療を開設するための医師確保を粘り強く取り組むべき。また、新成人に奥州市のために力を貸してほしいと頭を下げて。続いて、市内の中高学生に対して、新たに給付制奨学金制度を創設するので安心して勉学に励んで欲しい、と訴えてほしい。</p> <p>そのための特別な条例と予算を直ちに組んで頂きたい。</p>

No.	意見（概要）
7-(2)	<p>入院ベッド数200床規模の病院にしてほしい。</p> <p>【内容】二次救急医療を行うのに、緊急入院や緊急手術ができない病院では困る。内科系、外科系、慢性期、回復期、周産期と病棟が分かれた方がスタッフは働きやすい。能登地震でも多数の負傷者が出ている。このような災害発生時に新医療センターに空きベッドがない、では話にならない。</p> <p>災害時の医療拠点として機能できるセンター病院にすべき。80床の病院では、ホールも狭く、会議室も更衣室もみな狭くしかできない。あとから広げることが不可能。ぜひ200床規模の病院にしてほしい。</p>
7-(3)	<p>DMAT(災害派遣医療チーム)を養成できる施設にしてほしい。</p> <p>【内容】過去の経験や従前の想定を超えるような自然災害が多発している。このような時、自治体病院のネットワークが必要。新医療センターは、自らの災害のみならず、他県の災害発生時にも支援できるよう災害派遣医療にこそ重点を置いてほしい。</p>
8-(1)	<p>現状のデータの出典時期を明示されたい。</p> <p>【内容】「現状と課題」におけるデータ（出典）時期を明示されたい。</p>
8-(2)	<p>現状を計る詳細な情報を記述されたい。</p> <p>【内容】</p> <p>①現状の開業診療科名の表示、病床数149床の稼働率、平均入院患者数、外来者数が市内医療機関全体における割合を記述されたい。また、医業収支で683,060千円の損失ながら、経常収支873,573千円の利益がでた主要内容と額を記述されたい。</p> <p>②「最終的に患者満足度の向上につなげる必要がある」と記述されているが、「患者の満足度」とは何を意味しているのか、「満足度指標」と達成度を記述されたい。</p>
8-(3)	<p>東部エリアにおける地域医療の在り方を構想に盛り込むべき。</p> <p>【内容】市立医療施設の将来方針は5つの医療施設は残すとし、新医療センターの役割は3つの役割が示されている。これは、従来の施設を中心に地域包括ケアや市民サービスを提供するとし読み取れないが、市立の医療施設がない東部エリアについての地域医療に関する記述がない。東部エリアは県立江刺病院と連携（に任せ）のみ。6市町村合併してもなお、地域医療については、同エリアは構想外と受け取ってしまう内容。東部エリアにおける地域医療のあり方を構想にシッカリ盛り込むべきだがいかがか。</p>
8-(4)	<p>現状と課題は奥州市に限定して記載すべき。</p> <p>【内容】総括として、「現状と課題」では胆江医療圏の現状と課題を示しながら、総括では「奥州市」に限定した表現となっている。</p> <p>奥州市に限定した課題、今後の方向性としてまとめるのはいかがか。</p> <p>もし、奥州市に限定した構想なら、現状や見通しは奥州市のみ記載すべきと思うが、修正するの否か。</p>
8-(5)	<p>整備予定地は水沢IC近傍がベターではないか。</p> <p>【内容】候補地について、東部エリアを含め検討すると前市長は答弁していたが、東部エリアの検討経過を示されたい。また、アクセス面からすれば、水沢ICに近く、金ヶ崎町との広域連携を考慮すれば、むしろ、水沢IC近傍がベターではないか。再考する考えがあるか否か。</p>

No.	意見（概要）
8-(6)	<p>建て替えより県立病院への後方支援をすべきで建設には反対</p> <p>【内容】人口減少が一層減少する中、多額の負担をしてまで、病院建設しなければならない理由が読み取れない。</p> <p>外来、入院患者が毎年減少、医師の確保が見込めない、経営改善は一向に実現されない状況の中、水沢病院を建替えると旗を振られれば、誰でも近場に病院を建替えてほしい、折角建替えるのであれば他にないものを建てほしいと発言（意見）するのは当然。県立病院20の内が2つもある本市は恵まれている。民間医療機関も県内では多い方。むしろ、民間医療機関に対し支援を強化し、県立病院に対しては大分の負担金を拠出し更なる充実をお願いし、市は「健康・予防」に力を注ぐべきではないか。県が行う地域医療の後方支援の形で協力すべきではないか。</p>
8-(7)	<p>年代層毎の市民負担額を示すべき。</p> <p>【内容】建設に伴う将来にわたる市民負担を示した上で、建設の是非を問うべきではないか。若い世代が将来にわたって建設費負担を承知で建設賛成なら、やむを得ない。</p>
8-(8)	<p>経営強化プラン策定後に基本構想案を提示すべき。</p> <p>【内容】19ページに補足事項として、経営強化プランとの整合性を記述しているが、同プランの策定は令和5年度末とし、必要に応じて基本計画に反映するとある。経営の見通しを後にして、年度内早々に基本計画に着手するのは、いささか無責任。パブリックコメントの期間が短すぎるとの批判は当然。経営強化プランを示した上で、本基本構想（案）でいいかどうか。経営強化プラン策定後に基本構想（案）について市民議論（市民討議）をすべき。</p>
9-(1)	<p>市民要望の多い産科設置を排除しているため計画策定には同意できない。</p>
9-(2)	<p>病床数80床は過少であり市民の期待に応えられないため計画策定には同意できない。</p>
9-(3)	<p>策定にあたり水沢病院はじめ医療現場スタッフの参画が得られていないため計画策定には同意できない。</p>
10-(1)	<p>建設場所はメイプル又は現地建替が合理的</p> <p>【内容】街から近くて賑わいを醸し出すという理由を述べているが、その理由であればメイプル（跡地）利用こそが理にかなっている。水沢病院の精神科病棟を解体しその場所にセンターを設置することも非常に合理的。他の場所への設置なら跡地利用の問題が発生し、負の遺産になりかねない。</p>
10-(2)	<p>公的医療施設の果たす役割に沿って診療科に産科の設置を努力すべき。</p> <p>【内容】最初から分娩機能の設置をあきらめた構想に納得できない。居住地で安心して産み育てる環境であってこそ、少子化対策や定住促進にも反映され繋がっていく。このままでは夢も希望もない市に成り下がってしまう。</p> <p>公的医療施設の果たす役割として「採算性の面から民間医療施設では提供しがたい医療を提供する」とことと定義。市はこの定義に沿って努力すべき。市長自らトップセールスで解決しようとする気概はないのか。</p>
11-(1)	<p>基本方針の具現化のためには、医師確保を担保すべき。</p> <p>【内容】整備の基本方針はおおむね良いが、基本方針の具現化には総合診療医や二次救急医療に携わる医師を含む医師の確保が担保されていなければ、構想通りには進めないのではないか。</p>

No.	意見 (概要)
11-(2)	<p>新医療センター整備におけるネットワーク化の具体化が見えない。</p> <p>【内容】「地域全体をカバーするネットワーク型地域医療体制を構築する」ことになっており、市立医療施設のある胆沢、前沢と衣川はネットワーク化しやすいと思うが、江刺についてはどう組み入れていくのか見えない。新医療センター整備構想との整合性はどうとっていくのか。</p>
11-(3)	<p>在宅医療は地域ニーズに応え、地域医療連携室機能の充実を図るべき。</p> <p>【内容】</p> <p>①在宅医療に関して、新医療センターに中心的な機能を持たせ、他の医療機関等と連携し、地域全域のニーズに応じていくべきではないか。</p> <p>②「医療・介護・保健・福祉が連携した質の高い市民サービスを提供します」としているが、新医療センターの中に地域医療連携室的な機能をより充実させた形で設け、市民へのサービス向上に結び付けてほしい。</p> <p>③第3章3基本方針(10)療養環境の改善については、医療法の基準をクリアすれば良いのではないか。</p>
11-(4)	<p>最適地とした理由に根拠を明示すべき。</p> <p>【内容】第5章3選択した最適地とその理由(3)の・(ポツ)の2の理由について、根拠となる説明が必要ではないか。</p>
11-(5)	<p>建物整備はランニングコストも考慮に計画してほしい。</p> <p>【内容】建物整備にあたっては、ランニングコストやメンテナンス費用が多く掛からないように計画してほしい。</p>
12-(1)	<p>新病院の目標、顔・姿が描かれていない。今の構想案には反対</p> <p>【内容】構想案では「6つのコンセプト」を示しているが、市民が最も希求する病院としての目標、顔・姿が描かれていないように思う。周産期医療もやらない精神科もない、開業医を少し大きくしただけの病院という感想を持つ市民も多い。</p>
12-(2)	<p>医師免許のある人を先頭に医師確保をすべき。</p> <p>【内容】「地域医療懇話会」で同感できる発言として「医師確保にはリーダー的存在が必要」という内容だった。水沢病院の先生が先頭に立って医師確保をすべき。</p>
12-(3)	<p>予定地の「騒音」の調査をしたほうがいいのか。</p> <p>【内容】病院の機能には「静かに静養」ということがある。体育館もテニスコートも現存させ、人が集う公園もそのままの状態での病院を併設する構想だが、病院に欠かせない癒しの空間の確保、複合施設を建てる場合の「騒音」について調査した方がいいのか。</p>
13	<p>助産師・保健師の確保をしっかりすべき。</p> <p>【内容】県内や全国の様子を見ても、産婦人科は難しいのだろうと思う。であれば、産前産後のきめ細やかなケアに力を入れる方が現実的。</p> <p>「できることは何でもやる」「多少無理そうでもやる」くらいにして、満足感が得られれば、納得が追いついてくるのだろうと思う。そのためには、助産師・保健師の確保がもっと必要。退職する保健師のわりに採用される数が少ないような気がしている。</p> <p>都会や産業保健師への希望者が多いと聞くが、しっかり採用(確保)してほしい。ただし、余裕のある働き方でないと、助産師・保健師も大変。ケア職に従事する人が安心して働けてこそ、妊産婦も安心して相談できると思う。</p>

No.	意見（概要）
14	<p>水沢公園陸上競技場をつぶして建設する事は理解しがたい。</p> <p>【内容】整備予定地は令和6年秋までは決定せず、基本計画も出来ていない中でのあくまで(案)であるとのことだが、撤回を求める。</p> <p>水沢公園の陸上競技場は、各種定期利用団体の利用や陸上協会主催の大会、中高生の練習場所になっている。また、朝晩の市民のランニングラジオ体操など多くの市民の健康増進の施設となっている。</p> <p>むしろ、この陸上競技場を整備して市民が更に使いやすくすべき。</p> <p>市はアクセス面や国庫補助の活用を予定地とした理由に挙げるが、市街地エリア内であれば、メイプルの場所や旧胆沢病院跡地、水沢病院の元精神科病棟への建替えなど、水沢公園に建てる必要はない。</p> <p>バスターミナルや駐車場の確保するための敷地面積が必要とのことだが、コミュニティバスしか走っていない中、水沢病院で駐車場が足りている現状よりも少ない病床規模でどれほどの駐車場が必要か。胆沢病院との相互アクセスについては、中心市街地内であればどこでもアクセス面ではさほどの違いがない。</p> <p>土地所得費はかからない場所は中心市街地に他にもあることから、水沢公園陸上競技場をつぶして建設する事は理解しがたい。</p> <p>今回の進め方だが、場所ありきで既成事実を積み上げていくかのようであり、行政の進め方として瑕疵がある。</p>
15-(1)	<p>将来負担に不安があり病院建設に反対</p> <p>【内容】過去の負債もある水沢病院を建て直すのは将来の負担を考えると気が重い。他の県立病院や市立医療施設を充実させては。既存の建物を使って分散化させてもいい。</p> <p>今ある医療機関を1つ減らすと必ず反発が出ると思うが、既存機関の内容を充実させる方がコストも少なく将来に負債を先送りせず、満足度も上がる。</p>
15-(2)	<p>小児科に特化した診療科構成にすべき。</p> <p>【内容】水沢病院は小児科のみ利用。小児科以外は高齢者の利用という印象。小児科のみとし、休日対応、病児保育の充実策を（夜間・救急対応は胆沢病院で）。小児科以外の診療科は他の県・市・民間施設へ紹介してなくす。</p>
15-(3)	<p>妊産婦支援は保健センターの機能を充実させることで十分</p> <p>【内容】健診は保健センターで十分。産後ケアのサービスは不便だった。妊産婦のケア・産後のフォローは保健センターで充実させては。</p>
15-(4)	<p>不要な渋滞が出来るため整備場所に反対</p> <p>【内容】水沢公園陸上競技場に作った場合、別に競技場を作り直すのか。公園横の道路は狭く、周辺場所のみ2車線にしても周辺が混雑し、救急車、一般車両ともに不便。不要な渋滞が出来る。無理に中心地に作る必要があるのか。</p>
15-(5)	<p>地域医療水準が下がらない構想を希望する。</p> <p>【内容】水沢病院に勤務している医師、看護師その他職員が不利益にならない、かつ、地域医療水準が下がらない構想になることを希望</p>
16	<p>周産期のスタートとして新医療センターを起点に取り組んでほしい。</p> <p>【内容】母子手帳交付から出産、就学前、小中学校までの過程において、手続きリストや時期の案内、母親父親講習、母親のコミュニティーづくり、アウトリーチが可能になるしくみづくり、各検診の前後・対面での相談等など産科医、助産師のバックアップ体制をはじめ相談できる人、機関とつながっていることが必須</p>